PBR LENDING

BUSINESS REPORT

26-1Q

2026 1-3

PORTOBELLO ROAD

PBR Highlights Dashboard | 26-1Q

事業概況レポートの情報をこの一枚に。
2026年 1月-3月の実績と動きの概況が、ひと目でわかります。

四半期成果

+3.4%

前Q差：-0.3%

年率換算

+13.6%

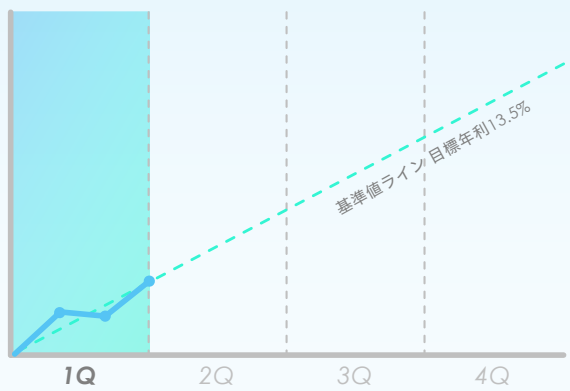
前Q差：-0.5%

基準との差

+0.1%

前Q差：-0.5%

事業成果推移



通貨割合

*1



パートナー

（暗号資産運用先）

*1 **11**

前Q差：-2







出庫申請から完了までの平均営業日数

1.6日

前Q差：-0.1日

目標：3 営業日以内
規約：7 営業日以内

※土日祝・夏季冬季休業中は除く

遅延・未払件数

0件

前Q差：0件

事件・事故件数

0件

前Q差：0件





※1 運用先との契約のため、一部の情報は非公開としています。

PBR Highlights Dashboard | 解説

PBR Highlights Dashboard では、対象期間の運用実績やサービス指標などをまとめて表示しています。
はじめてご覧になる方は、どうぞこちらの解説と合わせてご覧ください。

● 暗号資産運用成果

期間中の関連重要指標を
まとめて表示しています。

年・四半期

本資料の該当期間を表示しています。
26-1Q = 2026年 第1四半期　（Q = 四半期）

四半期成果

3ヵ月合計の
運用成績（損益率）を
前Q差と共に
表示しています。

年率換算

運用成果を元に
年に換算した損益率を
前Q差と共に
表示しています。

基準との差

年率換算の損益率を
基準値と比べ
前Q差と共に
表示しています。
（基準値 = 目標年利13.5%）



事業成果推移

月別損益率グラフ
を基準値と比べ傾向を
表示しています。

パートナー

運用先の数を
前Q差と共に
表示しています。
（継続・新規・非公開）

通貨割合

運用している通貨割合を
概算割合として
面積で表示しています。

各社との契約内容が
異なるため概算としています。

● サービス指標

期間中のサービス重要指標を
まとめて掲載しています。

出庫申請から完了までの平均営業日数

申請から出庫完了までの
平均営業日数を
前Q差と共に
表示しています。

事件・事故件数

事件や事故の発生件数を
前Q差と共に
表示しています。

遅延・未払件数

返還を規定日、未払など
の発生件数を
前Q差と共に
表示しています。

● 暗号資産NEWS

期間中の注目を浴びた
暗号資産NEWSを
紹介しています。

01 マーケットダイジェスト

世界の景気動向から金融・暗号資産のトレンドまで、四半期ごとの重要ポイントを凝縮。
期間中のマーケット全体を一枚で振り返れるレポートです。



世界経済・金融市場概況

2026年1〜3月期の世界経済は、年初は比較的底堅く推移したものの、2月末以降は中東情勢の悪化と原油価格の上昇を受け、先行きへの警戒感が強まりました。IMFは2026年の世界成長率見通しを3.1%とし、地政学リスクや資源価格上昇が世界経済の重荷になるとの見方を示しました。米国は1〜3月期の実質GDPが年率+1.6%となり、景気後退は回避しましたが、インフレ再燃への警戒からFRBは政策金利を3.50〜3.75%で据え置きました。

地域別では、米国が底堅さを維持した一方、ユーロ圏はエネルギー価格上昇や外需の弱さを背景にマイナス成長となり、景気の弱さが目立ちました。中国は前年比+5.0%成長と表面的には堅調でしたが、不動産開発投資の減少が続き、内需には弱さが残りました。日本は緩やかな回復基調を維持し、日銀は政策金利を0.75%程度に据え置きましたが、原油高や円安による輸入コスト上昇が引き続き注意材料となりました。

金融・投資市場では、年初のAI関連投資や景気底堅さへの期待から、3月にかけて「地政学リスク」「原油高」「インフレ再燃」への警戒へと市場テーマが変化しました。株式市場では米国ハイテク株を中心に調整が進み、S&P500は四半期で下落しました。一方、原油や資源価格の上昇を受け、エネルギー株や素材関連株は相対的に底堅く推移しました。

為替市場では、米国の利下げ期待が後退したことや地政学リスクを背景に、3月にかけてドルが買われる場面がありました。一方、円は日米金利差や日本のエネルギー輸入負担が意識され、相対的に弱含みやすい展開となりました。全体として、為替市場は金利差だけでなく、原油価格や地政学リスクに左右される展開となりました。

暗号資産市場は、2026年1〜3月期に大きく調整しました。暗号資産全体の時価総額は2025年末の約3.05兆ドルから3月末には約2.38兆ドルへ減少し、四半期で約22%の下落となりました。米国の利下げ期待後退、ドル高、ビットコインETFからの資金流出、デリバティブ市場での清算、規制不透明感、中東情勢によるリスク回避が重なり、BTCやETHを含む主要銘柄も軟調に推移しました。一方、ステーブルコインは相対的に底堅く、市場内でリスクを避ける資金移動も見られました。

暗号資産 注目ニュース *TOP3*



BTC急落、市場が調整局面へ

1月下旬、BTCが8万ドルを割り込み暗号資産市場が急落。主要通貨が一斉に下落し、26年第1四半期最大の市場イベントとなりました。



テーブルコイン規制議論進む

米国でUSDT・USDCを含むステーブルコイン規制の議論が進展。報酬や利回り提供のあり方が焦点となり、市場の注目を集めました。



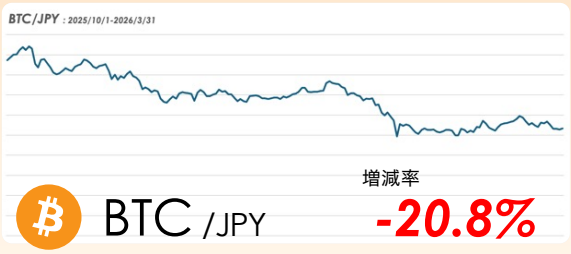
XRP ETFへの資金流入が拡大

米スポットXRP ETFへの大規模な資金流入が続き、XRPが大きく上昇。機関投資家からの関心の高まりが鮮明となりました。

02

暗号資産ダイジェスト

PBR LENDING が取り扱う6種類の暗号資産の動向と注目ニュースをまとめて掲載。
四半期の各暗号資産を手軽に振り返られる暗号資産レポートです。



史上最高値更新後の調整局面

2025年10月に史上最高値を更新した後、ETF資金流出や流動性懸念を背景に下落基調。1月下旬には8万ドルを割り込み、四半期では20.8%下落しました。

NEWS
1月：BTCが8万ドル割れ、流動性懸念が市場心理を悪化。
1月：米国で暗号資産市場構造法案が提出。制度整備進む。



市場全体の下落で大幅調整

市場のリスクオフの影響を受け、主要通貨の中で最も大きく下落。一方で、ネットワーク開発は継続し、次期アップグレードに向けた準備が進みました。

NEWS
1月：ETHが急落し2,300ドル台へ。
1月：Ethereum FoundationがFusaka後の開発計画を公表。



ETF期待で上昇後、市場調整に連動

年初はXRP ETFへの資金流入期待から上昇しましたが、その後は市場全体の下落に連動。規制面では米国での位置付け明確化が注目されました。

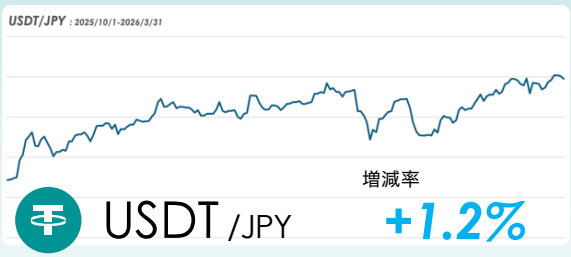
NEWS
1月：米スポットXRP ETFへの資金流入が拡大。
1月：XRPが年初来で大幅上昇。



エコシステム拡大が進むも価格は軟調

Cardanoはガバナンス強化やエコシステム拡大の発表が続きましたが、市場全体の下落圧力が強く、価格は下落基調で推移しました。

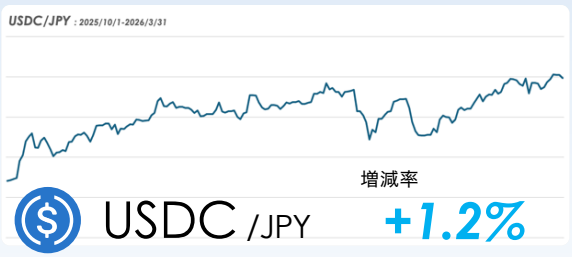
NEWS
1月：8,000万ドル規模のエコシステムファンド構想を発表。
3月：LayerZero統合やDeFi拡張計画を公表。



ステーブルコイン需要が継続拡大

市場が不安定な中でもUSDTの需要は堅調に推移しました。価格はドル連動のため安定していましたが、準備資産の内容が大きな注目を集めました。

NEWS
1月：Tetherが約27トンの金を追加購入。
2月：USDT時価総額が約1,870億ドルに到達。



規制動向が最大テーマ

価格面よりも規制面が大きな焦点となりました。発行体Circleの業績は好調でしたが、米国のステーブルコイン規制議論が市場関係者の関心を集めました。

NEWS
2月：Circleが好決算を発表。
3月：報酬型ステーブルコイン規制案が市場の注目材料に。

※ 表示している『 増減率 』は、レポート四半期期間の開始日と終了日の日本円換算値の増減率です。／ グラフは2025/10/1-2026/3/31までを表示しています。

03

暗号資産運用成果

当社の暗号資産運用に関する成績の増減率や年率換算値、通貨割合などを掲載。
四半期ごとの状況や変化をご報告するページです。

四半期成果

25-4Q結果
+3.7% ▶ **+3.4%**
前Q差：**-0.3%**

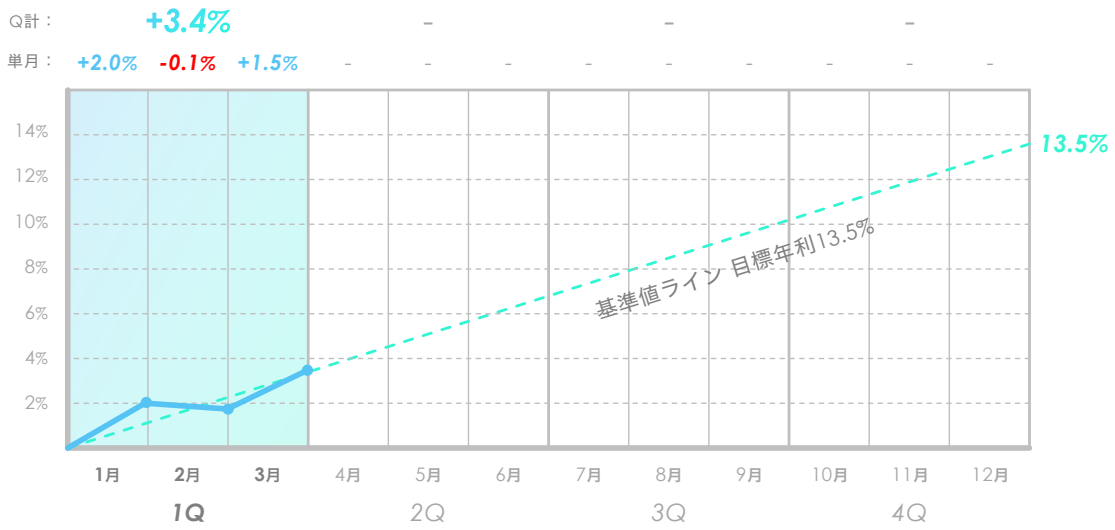
年率換算

25-4Q結果
+14.1% ▶ **+13.6%**
前Q差：**-0.5%**

基準との差

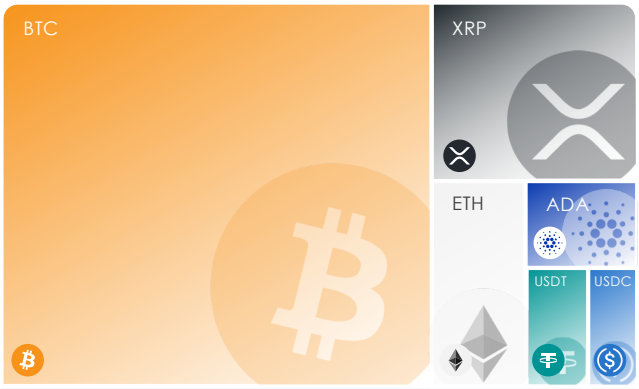
25-4Q結果
+0.6% ▶ **+0.1%**
前Q差：**-0.5%**

事業成果推移



運用成果について

1Qの運用成果は+3.4%となり、堅調なスタートとなりました。年率換算では+13.6%と、目標基準である13.5%を上回っています。月次では、1月+2.0%、2月-0.1%、3月+1.5%となり、2月のマイナスを挟みつつも、四半期を通じて安定した推移となりました。基準値との差も+0.1%を確保しており、短期的な変動を吸収しての底堅いスタートとなりました。



運用通貨割合（概算割合）

BTC割合の増加に伴い、年末から出資バランスの見直しを行いました。XRPは増加もETHが減少しています。



パートナー数

13 ▶ **11**
前Q差：**-2**

ポートフォリオ

26-4Qから11社構成となり、運用先の整理を進めました。非公開が1社増加しています。（現在審査中2社）

04

ポートフォリオ

投資・運用中のファンドの一覧です。
運用通貨や四半期の成績、年率換算値などをご報告するページです。

継続

香港 クリプトファンド A

トレンド予測とテクニカル指標のトレード運用

1Q成果	年率換算
+5.2%	+20.8%

2月に+0.6%と成果が落ち着いたが、3月に+3.1%と大きく伸長し、1Qの成果を底上げ。

マレーシア クリプトファンド A

4通貨を高頻度スワップアービトラージ

1Q成果	年率換算
+2.0%	+8.0%

1月〜3月の値動きが横ばいから下落が優位となり、期待値よりも下振れ。稼働する契機を見極め出資割合を調整予定。

日本 クリプト運用 B

独自開発のアルゴリズムによるテクニカル中心の運用

1Q成果	年率換算
+6.1%	+24.4%

1Qも好調を継続し＋6.1%の成果。円安が続くと調整もあり得るため注視して稼働を判断。（増資も視野に検討中）

香港 クリプトファンド B

テクニカル指標による予測アルゴリズム

1Q成果	年率換算
+5.8%	+23.2%

1Qで発生した急激な下落を的確に収益化したことに加え同レンジでの値動きでも＋5.8%の成果。

日本 クリプト建て運用 C

独自のアルゴリズムで複数ポジションを個別利確

1Q成果	年率換算
+3.0%	+12.0%

【年利固定契約：月1%保証】7月に満期を迎える。

韓国 クリプトファンド A

トレンド予測とテクニカル指標のアルゴリズム

1Q成果	年率換算
+3.0%	+12.0%

【年利固定契約：月1%保証】

ケイマン クリプトファンド A

独立したプログラム群のポートフォリオを適時最適化

1Q成果	年率換算
-2.5%	-10.0%

3月に-7.8%を記録し1Q合計がマイナスに転じたが、システムや設定に不備はないため監視を強め注意して稼働継続。

04

ポートフォリオ

投資・運用中のファンドの一覧です。
運用通貨や四半期の成績、年率換算値などをご報告するページです。

継続

日本 クリプト建て運用 E

AI活用した新しい仕掛けのイールドファーミング

1Q成果	年率換算
+18.3%	+73.2%

予想を大きく上回る成果をあげ、収益を維持拡大しているところから増資を行い収益機会の拡大をはかる。

停止・終了

【停止】日本 クリプトファンド D

50を超えるアルゴリズムが独立してトレード

1Q成果	年率換算
-15.0%	-

成果・運用体制等に課題が見つかり、5800万円の損切りの影響で1Q成果の減少主因。マイナス分は自社利益で補填済。

【終了】日本 クリプトファンド A

テクニカル中心のアルゴリズムとロット管理運用システム

1Q成果	年率換算
-	-

2025年通して＋3.1%の結果で基準値を大きく下回る推移が継続したため、本年より停止。

【終了】コモロ クリプトファンド A

トレンド予測とテクニカル指標のアルゴリズム

1Q成果	年率換算
-	-

25-4Qは延長となったが、12月末を持ってして、契約満了。

新規

2026年1Qで、新規稼働した出資先はありません。
（非公開で新規2社稼働しています。非公開出資先は現在3社です。）

04

ポートフォリオ

実業への出資について進捗を公開しています。
出資に関する成果や、年率換算値などをご報告するページです。

実業への出資

データセンター開発

最新の不動産投資はデータセンターへ

1Q成果	年率換算
+10.0%	+40.0% OVER

全22回、22億円相当の出資を実施。順調で計画を上回るペースで土地購入及び開発工事が進んでいる。地ならし後は最終的な地盤調査段階へと進む計画。







防災用品製造企業

３分の１に芯が縮む画期的トイレットペーパー製造

1Q成果	年率換算
+0.9%	+3.7%

本格的な展開に向けて生産基盤を構築中で、 本年6月以降に本格的な生産と出荷を開始する計画。

金 売買・海外採掘事業

ゴールドを担保とするために

1Q成果	年率換算
+3.1%	+12.4%

1Qでは2月中旬頃まで右肩上がりに価値を高め、一時30,000円を超えるなど高値を記録。

06

サービス

サービスの質向上に向けた取り組みをまとめた四半期レポート。
平均対応日数や改善状況などを通じて、サービスの動向をわかりやすく振り返ることができます。

出庫申請から完了までの平均営業日数

1.7日 ▶ **1.6日**

前Q差：**-0.1日**

遅延・未払件数

0件

前Q差：**0件**

事件・事故件数

0件

前Q差：**-1件**

サービス改善

1Qにおける暗号資産出庫の平均営業日数は1.6日となり、前Q比で0.1日短縮しました。引き続き、お客様へスムーズに出庫いただける体制を維持しながら、さらなる利便性向上に取り組んでまいります。
また、25-4Qに引き続き、「遅延・未払」「事件・事故」ともに0件を継続し、安定したサービス提供を行うことができました。
情報セキュリティ面では、外部専門事業者と連携しながら管理体制の見直しと強化を継続しています。社内監視体制や運用ルールの改善を進めることで、変化する社会環境やリスクに対応できる、より安心してご利用いただける環境づくりに取り組んでいます。

サポート改善

1Qでは、これまで整備してきたサポート体制をさらに強化し、お問い合わせ対応品質の維持・向上に取り組みました。単にご質問へ回答するだけでなく、お客様一人ひとりに寄り添った丁寧な対応を心がけています。
特に、お問い合わせに対する迅速かつ正確な対応に努めるとともに、必要に応じて電話でのご案内も実施しました。メールやチャットだけでは伝わりにくい内容についても直接ご説明することで、多くのお客様から安心できたとのお声をいただいています。大切な暗号資産をお預けいただくサービスだからこそ、人と人とのコミュニケーションを大切にしたサポートを重視しています。
また、サポート品質を継続的に向上させるため、対応に必要な知識や判断基準の標準化を進めています。これにより、どの担当者が対応しても安定した品質でご案内できる体制づくりを推進しました。

お客様の声

1Qでは、「年末年始感謝還元祭」の終了に伴い、キャンペーンへの駆け込み参加や適用条件に関するお問い合わせを多くいただきました。今後はより分かりやすく、誤解の生じにくいご案内へ改善を進めてまいります。
また、確定申告の時期と重なったことから、取引履歴や申告用データに関するお問い合わせやご要望も多く寄せられました。こうしたお声を受け、現在はデータの見やすさや利便性向上に向けたシステム改善を進めています。
今後は、確定申告に必要な情報をより分かりやすく提供するとともに、自動損益計算サービスとの連携も視野に入れながら、お客様の負担軽減と利便性向上に取り組んでまいります。これからもお客様からいただくご意見を大切にし、より使いやすいサービスづくりを進めてまいります。

07

26-1Q

四半期の運用状況や取り組み成果を総合的に振り返るまとめです。
成長の要因や市場動向、顧客対応の成果などをまとめ、この四半期の歩みをご報告いたします。

PBR LENDING からのメッセージ

2026年1月～3月期は、暗号資産市場において大きな価格変動が発生した四半期となりました。1月下旬にはBTCが8万ドルを割り込む場面が見られ、ETHやXRP、ADAなどの主要通貨も大幅な下落となるなど、市場全体が調整局面に入りました。世界的な景気不透明感や金融政策への警戒感、地政学リスクなども重なり、多くの投資家にとって冷静な判断が求められる期間であったと認識しています。

そのような環境の中で、当社の1Q成果は+3.4%、年率換算では+13.6%となり、目標基準としている年率13.5%を上回る結果となりました。市場全体が大きく下落する中でも、1月+2.0%、2月-0.1%、3月+1.5%と推移し、四半期を通じて安定した成果を積み重ねることができました。

もちろん、私たちはこの数字だけを評価しているわけではありません。短期間の成果は市場環境によって大きく左右されることがあります。本当に大切なのは、良い相場の時だけではなく、厳しい環境下でも安定した運営と管理を継続できるかどうかであると考えています。そのため当社では、成果だけでなく、リスク管理や運営体制の強化、サービス品質の向上にも継続的に取り組んでいます。



当四半期は、サービス改善においても多くの取り組みを進めることができました。まず1月には、多くのお客様にご参加いただいた「年末年始感謝還元祭」が大盛況のうちに終了いたしました。期間中は非常に多くのお申し込みやお問い合わせをいただき、改めて多くのお客様にご支持いただいていることを実感する機会となりました。ご利用いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

また、3月には新システムをリリースいたしました。これにより、これまで以上に使いやすく、分かりやすいサービス環境の実現を目指し、操作性や利便性の向上を進めています。さらに、サービスサイトについても全面的なリニューアルを実施し、初めてご利用いただく方でもPBR LENDINGの仕組みや特徴をご理解いただきやすい構成へ改善いたしました。加えて、当社として初めてオンライン説明会を開催いたしました。サービスの仕組みや考え方について直接お伝えできる機会として実施したところ、多くのお客様にご参加いただき、大変ご好評をいただきました。今後も継続的に情報発信を行い、より透明性の高い運営を目指してまいります。

また、確定申告シーズンには、取引履歴や申告用データに関するお問い合わせを多くいただきました。こうしたお客様の声を受け、取引履歴CSVダウンロード機能に対応いたしました。今後もお客様から寄せられるご意見をもとに、次年度に向けてさらなる機能改善を進めてまいります。

資産管理・返還体制についても継続的な改善を行っています。出庫申請から完了までの平均営業日数は1.6日となり、前四半期からさらに短縮でき、遅延・未払件数」は0件、「事件・事故件数」も0件を継続しています。これらは派手な数字ではありませんが、お客様からお預かりしている大切な暗号資産を適切に管理し、必要な時に迅速に返還できる体制を維持することは、当社にとって最も重要な責任の一つであると考えています。

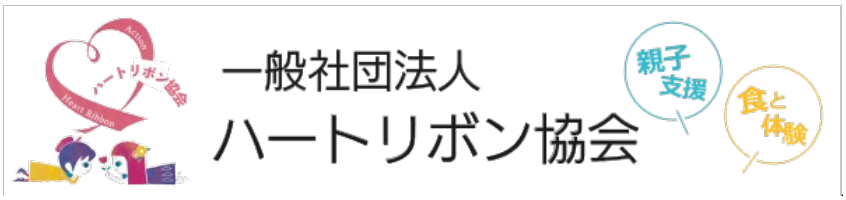
総じて2026年1月～3月期は、市場環境こそ厳しい状況ではありましたが、成果面だけでなく、サービス品質、利便性、資産管理体制、情報発信の各分野において着実な前進を確認できた四半期となりました。
私たちは、単に成果だけを追い求めるのではなく、「安心して利用できること」「誠実であること」「透明性があること」を何より大切にしています。これからもお客様からいただく信頼に真摯に向き合いながら、より良いサービスづくりを続けてまいります。

引き続き、PBR LENDINGをよろしくお願い申し上げます。

08

CSR活動

PBR社のCSR（企業の社会的責任）への取り組みを紹介しています。
『 お客様の信頼と預ける力が、社会や未来の豊かさへ循環していく活動 』をご報告するページです。



お客様とともに広げる、笑顔の輪

当社では、「お客様からいただいた信頼を、たくさんの笑顔に変える」という理念のもと、事業活動を通じて生まれた価値・利益を社会へ還元する取り組みを継続しています。

先日、子どもたちや子育て家庭への支援活動を行うハートリボン協会を訪問し、実際に現場で活動されている皆様からお話を伺う機会をいただきました。私たちはこれまで、支援物資の提供などを通じて同協会の活動を応援してまいりましたが、今回の訪問では、支援の先にいる子どもたちやご家族がどのような環境に置かれ、どのような課題と向き合っているのかを直接知ることができました。

お話の中で特に印象的だったのは、現在の子どもたちが抱える課題は、単なる経済的な問題だけではないということでした。物価上昇や生活環境の変化により、十分な食事を摂ることが難しい家庭がある一方で、共働き世帯の増加による「孤食」や、人との触れ合い・体験機会の減少による「経験格差」も大きな社会課題となっているそうです。

ハートリボン協会では、こうした課題に対して「食」と「体験」の両面から支援を行っています。子ども食堂やフードバンク活動を通じて食の支援を行うだけでなく、コンサートやスポーツ観戦、芸術鑑賞、テーブルマナー体験、親子イベントなど、子どもたちが普段なかなか経験することのできない機会を提供しています。

その背景には、「子どもたちの未来の可能性を広げたい」という強い想いがあります。

例えば、家族で食卓を囲む時間や、初めて見るステージに感動する経験、憧れのアスリートやアーティストと出会う体験は、子どもたちの心を育み、将来の夢や目標につながるかもしれません。協会では、こうした一つひとつの経験が子どもたちの成長にとって大切な財産になると考え、日々活動を続けられています。

また、昨年当社が実施した支援活動についても、多くのご家庭で温かな反響があったことを伺いました。届けられた品々を前に、「今日はどれを食べようか」「これ美味しそうだね」といった会話が食卓で生まれ、ご家族が笑顔で過ごす時間につながったそうです。

私たちが特に心を動かされたのは、支援によって生まれるのは物資そのものではなく、その先にある家族の会話や思い出、そして笑顔であるということでした。

さらに協会の皆様からは、「支援は与えるだけで終わるものではなく、優しさが次の優しさを生む循環である」というお話も伺いました。支援を受けた子どもが感謝の気持ちを誰かに返そうとする。その姿を見た家族や地域の人々がまた別の誰かを支える。そうした小さな思いやりの積み重ねが、より良い社会をつくっていくという考え方に、私たちも深く共感しました。

当社が日々取り組んでいる事業は、お客様との信頼関係の上に成り立っています。そして、そのご縁によって生まれた価値が、こうした社会貢献活動を通じて誰かの笑顔につながっていることを、今回改めて実感する機会となりました。

私たちは、事業の成長だけを目指すのではなく、その先にいる人々や社会とのつながりも大切にしていきたいと考えています。子どもたちの笑顔、ご家族の笑顔、地域の笑顔へとつながる温かな循環を育みながら、今後もハートリボン協会をはじめとする様々な団体との連携を続けてまいります。

Heart Ribbon
ぼくのうれしいが
ぼくのうれしい

09

お知らせ

PBR LENDING からのお知らせです。
四半期ごとの運用レポート公開のタイミングで、大切な情報をいち早くお知らせをお届けします。



感謝を込めて、過去最大級の還元キャンペーンを開催

PBR LENDINGは2026年6月にサービス開始から3周年を迎えました。これまで支えてくださったお客様への感謝を込めて、「3周年記念感謝祭」を開催しております。本キャンペーンでは、利率優遇・ご利用特典・紹介特典の3つの還元施策をご用意し、既存のお客様にも新規のお客様にもメリットのある内容といたしました。サービス開始以来、多くのお客様にご支持いただいたことへの感謝を形にした取り組みです。

年利率アップ！

最大15%

必ずもらえる！

QUOカード
500円分 or 1,000円分
＋
抽選で1,000名様に当たる
豪華賞品

招待特典が今だけ2倍！

6,000円相当
の暗号資産プレゼント

① 年利率アップ（最大年利15%）
- BTC・ETH・XRP・ADA：+0.5%
- USDT・USDC：最大+3.0%
- プレミアムレンディングは、最大年利15%を適用

② プレゼント企画
- 全員対象の記念特典
  ＋
- 抽選で1,000名様へ豪華賞品を進呈

③ 紹介特典2倍キャンペーン
- 通常3,000円相当
  → 6,000円相当に増額
- 紹介者・被紹介者双方が対象

プレミアムレンディング満期後は複利的な形でご利用いただけます。

プレミアムレンディングで満期を迎えられたお客様は、お貸出いただいた暗号資産の元本と利息が、自動で貸出準備ウォレットに反映される形で返還がなされます。その利息も含めて、レギュラーレンディングまたはプレミアムレンディングに再貸出いただくことで利息を元本に含める複利的な利用ができます。

詳しくは、特設ランディングページをご覧ください。
（当社ホームページ、またはお客様のマイページからご覧いただけます。）

3年間の歩みは、お客様一人ひとりのご利用とご支援によって実現できたものです。今後も資産管理体制の強化、顧客対応品質の向上、サービス利便性の改善を進めながら、安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいります。

END